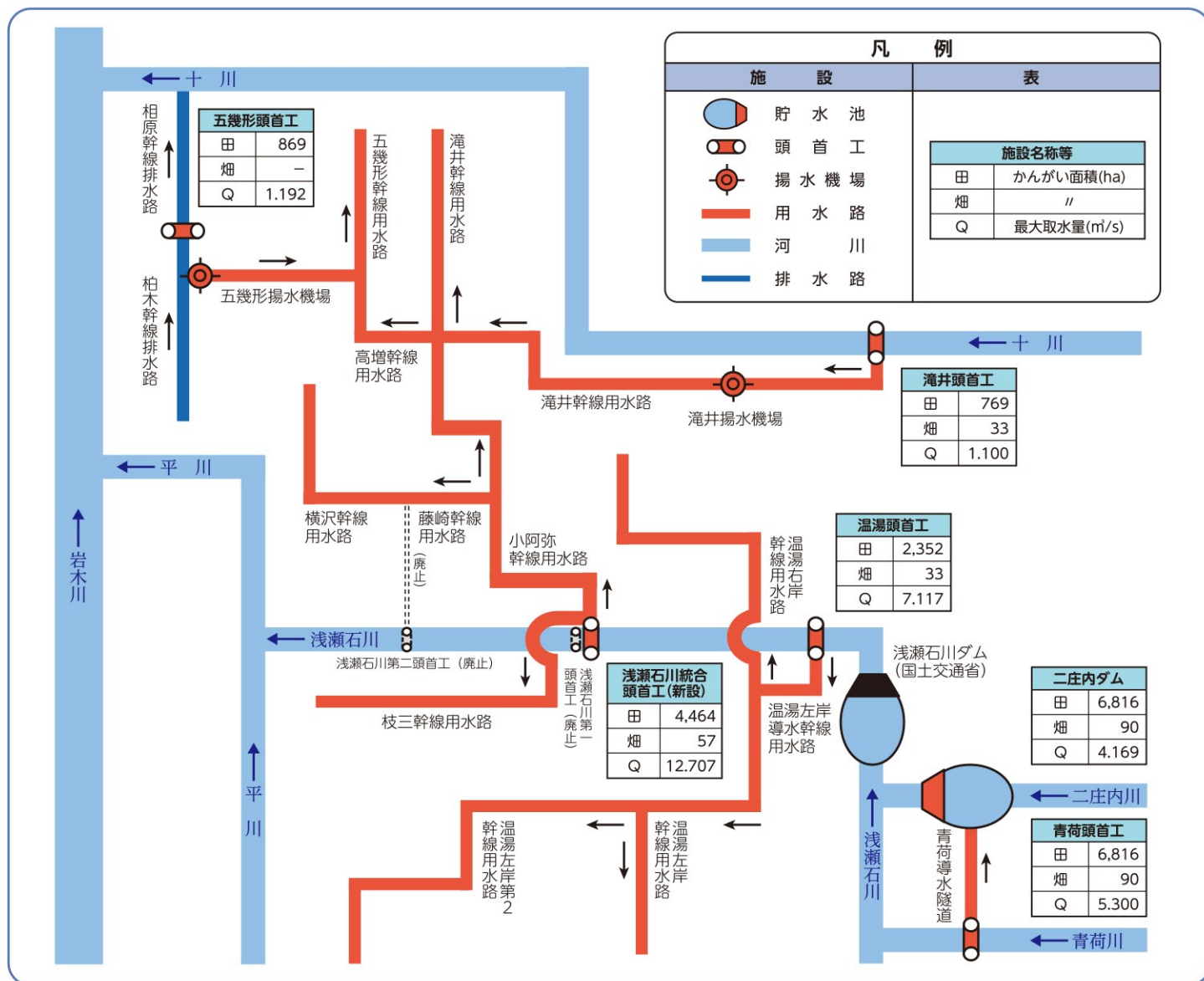
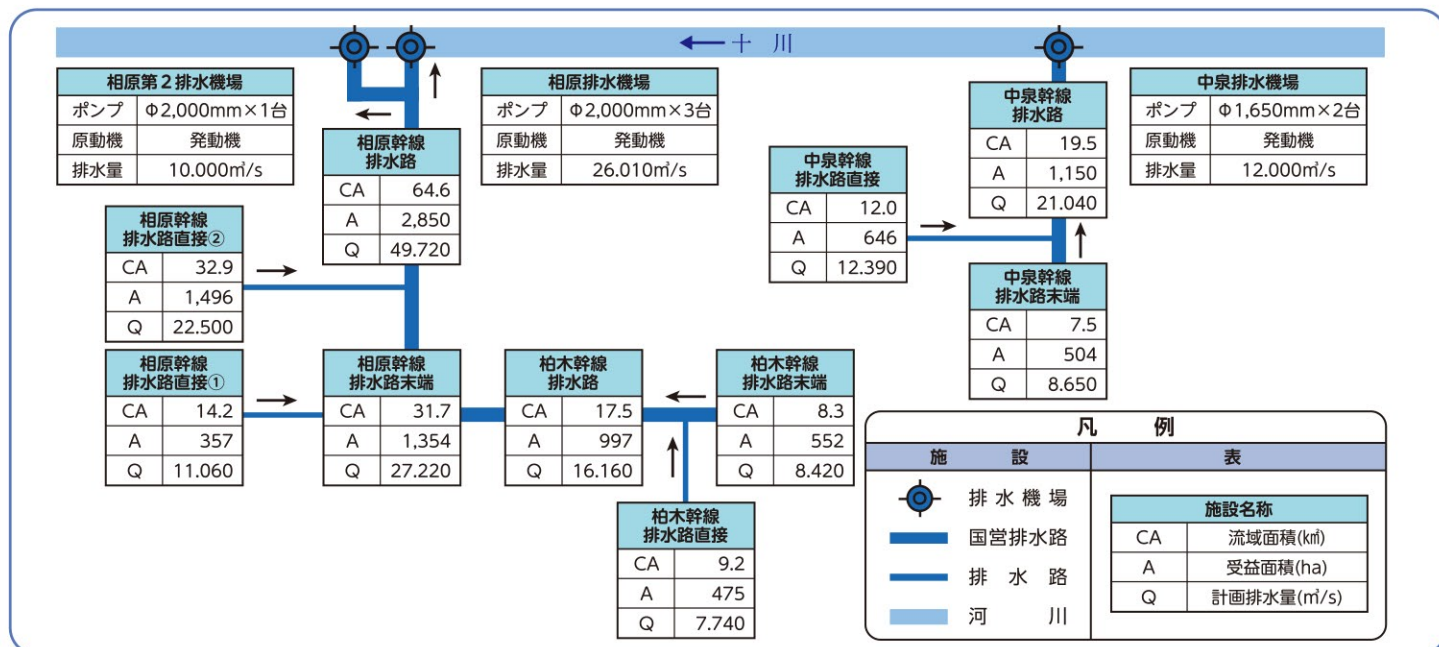


用水系統模式図



排水系統模式図



主要工事計画

① 貯水池

名 称		二庄内ダム										
堤 体	型 式	流域面積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎地盤地 質	貯 水 量 (千m ³)				備考
		直 接	間 接					総貯水量		有効貯水量		
	ゾーン型フィルダム	11.9	20.5	86.0	430.8	3,450	軽石質凝灰岩	15,600		15,000		改修
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放 流 量 (m ³ /s)	流 域 変更工	頭 首 工	導水隧道 (km)	
		側水路型		370.000	斜樋式 (地山設置型)		4.169	ジェットフローゲート		29.683	1 箇所	

② 頭首工

名 称		温湯頭首工										
型 式	堤高(m)	堤 長 (m)				取 水 門	取 水 量 (m³/s)	附帯施設	備 考			
		固定部	可 動 部		計							
フローティングタイプ 全可動堰	2.6	－	洪水吐 B23.0m×H2.6m×2門 土砂吐 B11.5m×H2.8m×1門		61.5	B3.0m×H1.7m×4門	7.117	魚道（左岸）	改 修 耐震化対策			
名 称		浅瀬石川統合頭首工										
型 式	堤高(m)	堤 長 (m)				取 水 門	取 水 量 (m³/s)	附帯施設	備 考			
		固定部	可 動 部		計							
フローティングタイプ 全可動堰	1.5	－	洪水吐 B32.5m×H1.5m×1門 土砂吐 B10.5m×H2.1m×1門		45.0	B2.2m×H2.1m×3門	12.707	魚道（左岸、右岸）	統合新設 耐震化対策			
名 称		滝井頭首工										
型 式	堤高(m)	堤 長 (m)				取 水 門	取 水 量 (m³/s)	附帯施設	備 考			
		固定部	可 動 部		計							
フローティングタイプ 全可動堰	1.6	－	洪水吐 B16.5m×H1.6m×1門 B12.7m×H1.6m×1門 土砂吐 B11.0m×H1.8m×1門		51.0	B1.7m×H1.4m×1門	1.100	魚道（左岸）	改 修			
名 称		五幾形頭首工（排水反復施設）										
型 式	堤高(m)	堤 長 (m)				取 水 門	取 水 量 (m³/s)	附帯施設	備 考			
		固定部	可 動 部		計							
フローティングタイプ 全可動堰	1.6	－	水位調整ゲート B5.9m×H1.7m×1門		5.9	－	1.192	－	改 修			

③ 揚水機場

名称	項目	揚水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備考
			全 揚 程	実 揚 程	形 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形 式	動 力	台 数 (台)	
滝井揚水機場		1.100	3.4	2.8	斜流型	600	2	電動機	37kw	2	改 修
五幾形揚水機場		1.192	6.3	5.6	斜流型	600	2	電動機	65kw	2	改 修

④ 用水路

水路名	項目	かんがい面積 (ha)	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			主要構造物	備 考
				開渠	トンネル その他	計		
温湯左岸導水幹線用水路		2,385	7.117	1.5	0.9	2.4	—	改修
温湯左岸幹線用水路		(426)	0.765	3.2	0.7	3.9	落差工2箇所、水路橋2箇所	改修、耐震化対策 ()は温湯左岸導水幹線用水路と重複で内数
温湯左岸第2幹線用水路		(1,156)	3.773	4.2	0.5	4.7	落差工12箇所	改修、()は温湯左岸導水幹線用水路と重複で内数
温湯右岸幹線用水路		(781)	2.632	7.1	0.6	7.7	サイホン1箇所、落差工5箇所	改修、()は温湯左岸導水幹線用水路と重複で内数
枝三幹線用水路		635	2.047	1.7	0.3	2.0	落差工7箇所	改修
小阿弥幹線用水路		3,886	10.660	13.1	0.4	13.5	落差工17箇所	改修、断面拡幅
藤崎幹線用水路		(1,094)	3.263	2.7	0.5	3.2	落差工4箇所	改修、()は小阿弥幹線用水路と重複で内数
横沢幹線用水路		(685)	2.038	4.6	0.5	5.1	サイホン4箇所	改修、()は小阿弥幹線用水路と重複で内数
滝井幹線用水路		(802)	1.825	2.1	0.6	2.7	サイホン7箇所	改修、()は小阿弥幹線用水路と重複で内数
高増幹線用水路		(1,040)	3.087	3.4	0.4	3.8	サイホン5箇所	改修、()は小阿弥幹線用水路と重複で内数
五幾形幹線用水路		(871)	2.585	2.8	0.3	3.1	—	改修、()は小阿弥幹線用水路と重複で内数
計		6,906		46.4	5.7	52.1		

⑤ 排水機場

名称	項目	排水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備考
			全 揚 程	実 揚 程	形 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形 式	動 力	台 数 (台)	
相原排水機場		26.010	3.3	2.0	軸流型	2,000	2	発電機	427kw(580ps)	2	改 修 耐震化対策
			3.3	2.0	斜流型	2,000	1	発電機	420kw(570ps)	1	
相原第2排水機場		10.000	4.9	2.6	斜流型	2,000	1	発電機	670kw(911ps)	1	改 修 耐震化対策
中泉排水機場		12.000	2.5	1.4	軸流型	1,650	1	発電機	228kw(310ps)	1	改 修 耐震化対策
			2.5	1.4	斜流型	1,650	1	発電機	228kw(310ps)	1	
計		48.010					6			6	

⑥ 排水路

水路名	項目	受益面積 (ha)	排 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			主要構造物	備 考
				開渠	トンネル その他	計		
相原幹線排水路		2,850	49.720	8.5	—	8.5	—	改修
柏木幹線排水路		(997)	(16.160)	5.3	—	5.3	—	改修、()は相原幹線排水路と重複で内数
中泉幹線排水路		1,150	21.040	4.7	—	4.7	落差工3箇所	改修
計		4,000	70.760	18.5	—	18.5		

⑦ 水管理施設

施設名	項目	構造 (制御方法)	規 模	数量	備 考
水管理施設		遠方監視制御	中央管理所 (親局)、子局及び孫局	一式	改修 貯水池、頭首工、揚排水機、用水路の附帯施設

主な整備内容

頭 首 工

新設イメージ



浅瀬石川統合頭首工（新設）

用 水 路

現況写真



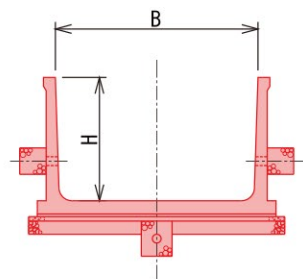
小阿弥幹線用水路

改修イメージ



大型フリウムによる改修

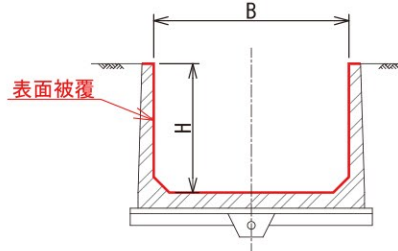
断面図



横沢幹線用水路



表面被覆による補修



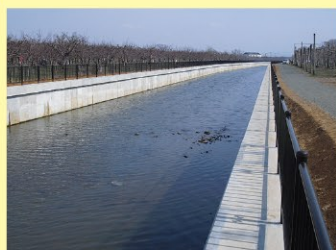
排 水 路

現況写真



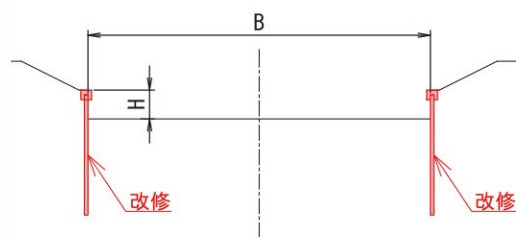
相原幹線排水路

改修イメージ



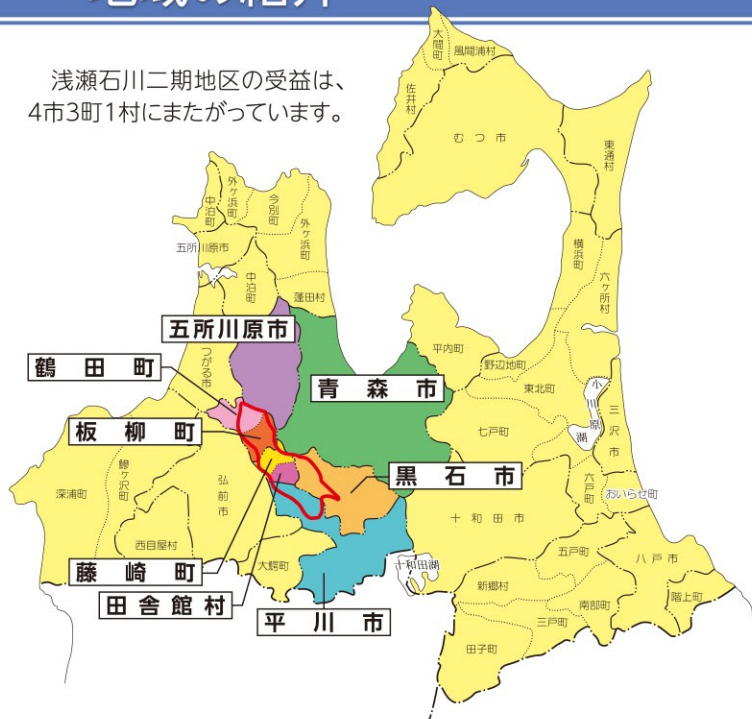
コンクリート矢板による護岸改修

断面図



地域の紹介

浅瀬石川二期地区の受益は、4市3町1村にまたがっています。



青森市

奈良時代に中国から渡来した「七夕祭」と、津軽の習俗と精霊送り、人形、虫送り等の行事が一体化して、人形、扇ねぶたになったと考えられています。



青森ねぶた

黒石市

通りに面した町家の正面に設けられたひさしを「こみせ」と呼んでいます。ひさし下の空間は、商店の一部として利用されるばかりでなく、積雪時の貴重な歩行通路となります。



こみせ通り

平川市

平川ねぶたまつりで運行される扇ねぶたは高さ12メートル、幅9.2メートル、重さ約6トンの大きさを誇る「世界一の扇ねぶた」です。



世界一の扇ねぶた

板柳町

ふるさとセンターは、世界各国のりんごを栽培する品種見本園、りんご資料館、りんご加工場など、生きているりんごの博物館として、日本全国から、あらゆる方面の方々が訪れています。



ふるさとセンター

藤崎町

りんご生産量で世界一の品種である「ふじ」は、藤崎町が発祥です。国光とデリシャスの交配により生まれ、1962年に日本を代表する富士山と藤崎町の一字をとって「ふじ」と命名されました。



ふじの原木のひこばえを育成した「原木」

田舎館村

古代米で描く巨大な「田んぼアート」は訪れる人を魅了します。近年は「石アート」や「スノーアート」など、「アートの村」として多彩なイベントが行われています。



田んぼアート

五所川原市

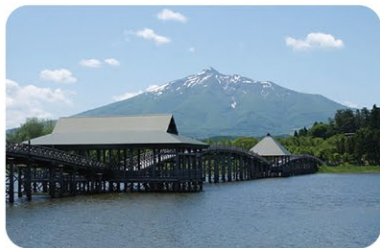
「青森のねぶた」、弘前ねぶたと並ぶ青森三大ねぶたの一つです。高さが最大で20mを超える山車の壮大な運行が魅力です



立佞武多（たちねぶた）

鶴田町

津軽富士見湖に架けられた「鶴の舞橋」は、全長300メートルの日本一長い三連太鼓橋であり、鶴と国際交流の里・鶴田町のシンボルとして、多くの人々に愛されています。



鶴の舞橋

東北農政局 津軽土地改良建設事務所

〒036-0357
青森県黒石市追子野木3丁目145番1号
電話 0172-40-4360 FAX 0172-40-4450

●事務所案内マップ

